

2 学年通信

平成24年4月12日

No. 2

どんな2年生になりたい？

今皆さんは、2年生になって、「部活でレギュラーをとるぞ」とか「苦手教科の成績をあげるぞ」など、やる気が一杯なのではないでしょうか。そのやる気が大切です。もっと自分を高めるために、何を頑張ったらいいか、君たちならすぐに分かるはず。新しい節目にある今、各自が目標をたて、取り組んでいきましょう。



支 度
何の匂いでしょう
これは
春の匂い
真新しい着地の匂い
真新しいかわの匂い
新しいものの
新しい匂い
匂いのなかに
希望も
ゆめも
幸福も
うつとりと
うかんでいるようです
ごったがえす
人いきれのなかで
だけどちよつぱり
気がかりです
心の支度は
どうでしょう
もうできましたか

黒田 三郎

道徳 「それぞれ、違っていいんだよ」

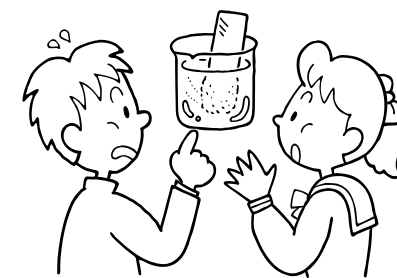
4月10日(火)4校時、夏原先生をお迎えし、7、8組についてのお話と、それぞれの個性や立場を尊重することの大切さをお話して頂きました。『五体不満足』の著者乙武さんの思いの一部を紹介します。



「他人を認める心の原点は、自分を大切にすることだ。自分の存在を認められるようになれば、自然に、目の前にいる相手の『相手らしさ』も認めることができるようになるはずだ。自分も、たったひとりの自分であるように、この人も、たったひとりしかいない、大切な存在なんだ」

互いにその違いを認め合い、学び合うそんな学年にしたいですね。

学年集会にて



4月9日(月)2校時、学年集会がありました。八谷先生からどんな学年になってほしいかについてのお話がありました。

先生たちは君たちに こんな生徒になってほしい

互いに学び合う集団をつくろう。

- (1) 生活や授業のルールを守ろう。
- (2) 自分の考えや思いを言葉で伝えよう。
- (3) 互いを認め合い、学び合いができる集団をつくろう。

甲元先生のお話にもありましたが、中学校は社会に出るために必要な力をつけていくところです。それは学力はもちろん、時間を守る、あいさつをする、掃除をきちんとする、自分の役割を果たすなど、社会に出ればできて当たり前と思われていることを、中学校生活の中で少しずつ身につけていきます。また、授業での学び合いだけでなく、修学旅行や職場体験学習などを通して、仲間と積極的に関わり、お互いの良さを認め合うことで、人と関わる力をつけ、自分を大切にする人になっていきます。



皆さんは、この1年間、どんなことに挑戦し、自分を今までよりずっとすてきな人に高めていますか？先生たちはとってもたのしみにしています。